

令和 6 年第 1 回西海市議会定例会

市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
3 月 4 日 (月)	1	1	打 田 清 議員	2
	2	2	荒 木 吉 登 議員	3
	3	3	平 井 満 洋 議員	4
	4	4	田 川 正 毅 議員	6
3 月 5 日 (火)	5	1	瀧 瀬 栄 子 議員	7
	6	2	小 嶋 俊 樹 議員	9
	7	3	戸 浦 善 彦 議員	9

西 海 市 議 会

1. 打田 清 議員

質問事項 1

防災・災害対策について

質問の要旨

近年、各地で地震や台風、大雨などによる大規模な自然災害が頻発している。本市においても、令和2年9月の台風9号、10号、そして令和3年8月の大雨により、甚大な被害が発生した。大規模災害の発生は、将来的にも深く憂慮すべきことであると認識している。そこで、本市における地震、台風、大雨への災害対策について伺う。

- (1) 本市では、災害発生時に道路、電気、水道等のライフラインの復旧や応急対策を迅速かつ的確に実施できるように自衛隊、警察、消防などと一体となった総合防災訓練を実施しているが、関係機関との連携について、災害が発生した際の初動時における連絡体制や協力関係について伺う。
- (2) 市民の生命を守るための避難情報の周知体制や災害弱者が避難行動を果たすための支援体制はどのように図られているのか伺う。
- (3) 長崎県が定めた災害時の物資備蓄等に関する基本方針によれば、災害直後の生命維持や生活に最低限必要な物資を共通備蓄品とし、また、共通備蓄品以外の品目は、各行政の地域性などを考慮し、必要な物資を備蓄するとされている。そこで、本市では、どのような品目をどの程度備蓄しているのか、またそれらの備蓄品をどのように管理しているのか伺う。
- (4) 令和9年度の運用開始が予定されている防災食育施設の整備について、事業は順調に進捗しているのか。また、当該施設は災害時の防災拠点としての機能を有しているとのことだが、避難施設としての計画はないのか伺う。

質問事項 2

観光施設「七ツ釜鍾乳洞公園」一帯の整備計画について

質問の要旨

本市の観光振興の基幹的な施設のひとつである「七ツ釜鍾乳洞公園」について、令和3年第3回定例市議会の同僚議員の一般質問において、「七ツ釜鍾乳洞公園」一帯の整備計画について質問がなされ、市長から、「老朽化した建物を計画的に解体・撤去し、整備しやすい環境をつくり、地元の方々のご意見を伺いながら、今後どう利活用していくか検討したい」との答弁があった。そこで、現時点の計画と将来の展望について伺う。

2. 荒木 吉登 議員

質問事項 1

I T教育社会による子供の視力低下について

質問の要旨

文科省は、全国の児童生徒一人一台のタブレット端末を普及させ、電子黒板などを用いた環境下での学びをスタートし、デジタル教科書やインターネットを介して、デジタル化の良さや役割を踏まえつつ、普及促進を図っている。一方で、同省はI C T教育による児童生徒の健康面への影響を懸念しており、子供の視力低下についても近視の発症や進行を防ぐため、最新の医学的知見にもとづいた対応が極めて必要だと啓発している。そこで、次の点について伺う。

- (1) 市は、健康診断等で児童生徒の視力の低下が認められた場合、本人や家族に対しどのような指導やカウンセリングを行っているのか伺う。
- (2) 子供たち自らが目の健康について学び、実践することが重要と考える。正しい姿勢を保ち、使用時間を決めるなど、ルールを守ることが共有し、家族ともしっかりと連携することが不可欠であるが、現状の取組状況と今後の対策を伺う。
- (3) 視力が低下した際には様々な目の病気の可能性がある。弱視等により医師の指示書に基づいて作成した眼鏡等であれば、福祉医療制度の対象となるが、それ以外の手術や矯正治療及び矯正器具等が必要な場合について、市独自の支援策を講じる考えはないか伺う。

質問事項 2

有機肥料の活用について

質問の要旨

我が国では、将来にわたって食料の安定供給を図るために、持続可能な食料システムの構築を進めている。今後S D G sや環境を重視する動きが国内外で加速していくと見込まれる。そのような中、本市の中山間地でトマト、ブドウ、水稻を栽培している農家は、化成肥料・農薬等の価格が高騰していることもあり、持続可能な農業を目指し、有機肥料を活用した取組を行い、その結果、反当りの収穫量が向上していると聞いている。

そこで、現在進められている農業施策と並行して、畜産農家から出る糞尿を地域資源と捉え、堆肥化处理の促進と有機肥料の使用を推進する取組を行い、まずは化成肥料等の使用量の50%削減を目指し、持続可能な農業体制を展開すべきと思うが考えを伺う。

質問事項 3

緊急災害時の対応について

質問の要旨

令和 6 年 1 月 1 日に石川県で発生した令和 6 年能登半島地震により、多くの生命や財産等を奪われ、今なお大勢の人々が先の見えない避難生活を余儀なくされている。本市は、大規模自然災害のリスク等を踏まえ、災害予防、災害応急対策及び災害復旧・復興について必要な対策の基本を定め、市の防災体制を確立するとともに、市土並びに市民の生命、身体及び財産を災害から保護し、被害を最小限に軽減するため、「西海市地域防災計画」を示している。そこで次の点について伺う。

- (1) 市は、地震や大雨等、予期せぬ災害が発生し、地域が孤立した場合、医療や生活必需品等の救援対策は、どのようにシミュレーションされているのか伺う。
- (2) 本市では、西海市地域防災計画において、自主防災組織の育成が謳われているが、災害時には混乱して当該組織が十分に機能を果たせないことも予想される。災害時に円滑に助け合いができるように、日常から地域での共助の取組について備えておくことが必要であり、各地区の実情に合った防災対策マニュアルの作成や訓練の促進が必要だと思うが、考えを伺う。
- (3) 1981 年 6 月 1 日以降に建築確認申請を受けた建物は新耐震基準で建築されているが、それより前に建てられたものは旧耐震基準の建物である。大地震が発生すれば、どれほどの被害をもたらすか、想定は難しい状況であり、現行の耐震基準を満たしていないものは耐震化を促進させることが必要であると考えている。市では、「安全・安心住まいづくり支援事業」を実施し、耐震化への補助事業を行っているが、いつ発生するかわからない災害に備え、少しでも被害が抑えられるように当該事業の周知を十分に行うこと、また、耐震化への支援について、当該制度の補助率を上げるなどのほか、耐震化が進むための新たな制度の構築が必要だと思うが、考えを伺う。

3. 平 井 満 洋 議員

質問事項 1

長崎オランダ村について

質問の要旨

長崎オランダ村株式会社との訴訟については、長崎オランダ村株式会社を原告とする当事者訴訟等請求事件と、本市を原告とする建物明渡し等請求事件を併合して

審理されていると思うが、現在の審理の状況について伺う。

質問事項 2

建設工事について

質問の要旨

令和 5 年度に提出された建設工事に係る入札参加資格申請書の中で、土木工事、建築工事及び解体工事の登録件数、落札件数及び落札金額を伺う。また、これらの工種については、地元事業者の育成を考慮した入札制度となっているのか、指名業者の選定基準や指名のあり方について伺う。

質問事項 3

観光地づくりについて

質問の要旨

- (1) 第 2 次西海市まち・ひと・しごと総合戦略の基本目標 1 において、収益力のあ
る観光地づくりを掲げているが、具体的な施策とその成果について伺う。
- (2) 昨今、キャンプは自然の触れ合いを楽しむためのレジャーとして多くの人に支
持され、キャンプスタイルも多様化している。そこで、誘客の増加を図るため、
テントサイトに車の横付けが可能でキャンプ道具の持ち運びが容易にできるオー
トキャンプ場を既存の公園などに整備する考えはないか伺う。

質問事項 4

旧長崎オランダ村 C ゾーンについて

質問の要旨

令和 5 年第 4 回定例会の一般質問において、令和 6 年度から周辺海域に影響を与
える海上付近の木造の建物 18 棟及びウッドデッキ 4,750 平方メートルの解体、撤
去を順次進めていく計画との答弁を受けたが、約 1 億 5,000 万円の費用を投じて解
体することに市民の理解は得られると思うのか伺う。

質問事項 5

市長が掲げた政策課題の総括について

質問の要旨

市長就任から 7 年が経過しようとしているが、掲げた政策課題は着実に実行され
たと評価しているのか伺う。

4. 田川 正毅 議員

質問事項 1

松島火力発電所が実施する「GENESIS松島計画」について

質問の要旨

- (1) 松島火力発電所による「GENESIS松島計画」については、J-POWERの石炭ガス化技術の研究開発において、広島県の大崎クールジェン・プロジェクトでの実証試験を踏まえ、2024年に工事着工し、2026年には運転開始の予定と聞いていたが、工事着工が2026年に変更されたと聞く。着工が変更された理由と今後の計画について伺う。
- (2) 「GENESIS松島計画」が実行されるにあたり、市内事業者にも大きな利益をもたらすと考えられるが、西海市商工会をはじめ、市内事業者に対するビジネスチャンスへの説明・働きかけの実施状況について伺う。

質問事項 2

江島沖洋上風力発電事業について

質問の要旨

令和5年12月13日、国は崎戸町の江島沖を囲む約4千ヘクタールの海域において「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用促進に関する法律」に基づき、住友商事株式会社と東京電力リニューアブルパワー株式会社を構成員とする「みらいえのしまコンソーシアム」を洋上風力発電事業者として選定したと発表した。この事業が実行されるにあたり、市内事業者にも大きな利益が還元される可能性がある。このことについて、今後、西海市が果たすべき役割について考えを伺う。

質問事項 3

西海市の医療体制について

質問の要旨

令和5年、念願の西海救急クリニックが医療法人EMSにより開設されると発表された。市民の期待・関心も高まっており、具体的な情報を知りたいとの声も聴く。開設場所や診療科目について周知を図る必要があると考えるが市長の考えを伺う。

また、一方で大瀬戸地区・崎戸地区において長年、地域医療を支えてこられた医院が廃止されるとのことだが、西海市の医療体制について、現状の認識と今後の体

制を伺う。

5. 洲瀬 栄子 議員

質問事項 1

家庭ごみの収集について

質問の要旨

- (1) 高齢者や障がい者等で、自宅からごみ集積所までのごみ出しに困難を感じている世帯に対し、県内のいくつかの自治体では戸別に収集を実施している。

長与町では火曜日または水曜日の週一回、ご自宅を訪問してごみと資源化物の戸別収集を行う「高齢者等ごみ出し等支援事業」を実施している。

また、雲仙市では週一回、旧 3 町を対象に火曜日、旧 4 町を対象に水曜日に粗大ごみを除く一般家庭ごみを戸別収集する「高齢者等戸別収集支援事業」を実施している。

本市では、令和 3 年 3 月に策定した「西海市一般廃棄物処理基本計画」において、高齢者等世帯に対する支援について、戸別訪問によるごみ収集及び収集の際の安否確認等の実施について、関係機関との協議を行い、実態調査のうえ制度化に向けて検討を進めるとあるが、具体的な進捗状況と実施時期について伺う。

- (2) 県内には、粗大ごみの搬出に困っている高齢者等のために、有料ではあるが戸別収集を行っている自治体があるが、本市でも実施できないか伺う。

- (3) 本市では、家庭ごみを 6 種類 17 分別に区分し収集しており、市民と行政区の協力により、令和 3 年度の再生利用率は炭化物を含み 32.5%と、全国平均の 19.9%や、長崎県平均の 16.3%を大きく上回っている状況である。

しかしながら、資源物の 3 分別の拠点回収に立会うことが住民にとって負担になっているとの声が寄せられている。各行政区や自治会から話を聞くと、立ち会い形式は様々で、組ごとや 2 人ずつの当番として 30 分から 1 時間程度立ち会っているところや、当番が拠点回収場所にかごなどを準備するだけであったり、決められた倉庫やコンテナなどに随時搬入するなど立会いを必要としないところもある。

そこで、平日早朝の拠点回収場所における立会い、当番のあり方について見解を伺う。

質問事項 2

第 9 期介護保険事業計画における第 1 号被保険者の介護保険料について

質問の要旨

令和 5 年 11 月分例月出納検査結果報告書によると、介護給付費準備基金の当月末現在の残高は 5 億 1,453 万 3,267 円となっており、令和 5 年第 3 回定例会の厚生常任委員会における令和 5 年度西海市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）の審査では、9,011 万 2,000 円を積立金として増額計上し、基金現在高は 6 億 465 万 2,751 円になる見込みとの説明があっている。

そこで、令和 6 年度からの第 9 期の介護保険事業計画において、介護給付費準備基金を活用して、65 歳以上の第 1 号被保険者の介護保険料を引き下げ、負担軽減を行うべきと思うが見解を伺う。

質問事項 3

国民健康保険税について

質問の要旨

令和 6 年 2 月 5 日に開催された令和 5 年度第 2 回長崎県国民健康保険運営協議会において、新年度以降の運営方針の最終案が県から示されたという報道があった。

その報道によると、自治体ごとに異なる国民健康保険料を同じ水準に統一することを目指し、新年度から算定に関わる仕組みを変更することを明らかにしたとのことである。

これまでは、県が示した市町標準保険料率を参考に、市町独自の保険料算定方式や予定収納率など地域の個別の事情を踏まえて、各市町が決定していたが、新年度からの本市の保険税はどうなるのか伺う。

質問事項 4

特別支援学校小中学部分教室の開校に向けて

質問の要旨

令和 7 年 4 月に開校予定の特別支援学校小中学部分教室に関する説明会が令和 5 年 12 月 1 日に開催された。その際、参加した保護者から、就学までのスケジュールと就学先を判断するために通学支援を示してほしいとの意見が出された。その意見に対して、意向調査を行うとの回答があったが、その集計調査の結果をもとにした通学支援案が提示されるのはいつになるのか。また、保護者の意見を適切に反映するための情報共有や協議が必要であると思うが見解を伺う。

6. 小嶋 俊樹 議員

質問事項 1

江島沖洋上風力発電事業について

質問の要旨

「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律」に基づき、江島沖洋上風力発電事業者が選定された。

今後、洋上風車などの設置工事が開始されると思うが、次の4点について伺う。

- (1) 新産業推進課と担当省庁が今後担う役割分担と今後のスケジュールを伺う。
- (2) 当該事業推進地域を含めた市全域への地元貢献を発電事業者に働きかける考えはないか伺う。
- (3) 当該事業が推進される中で、工事着工時及び運用時における地域住民の安全安心対策について伺う。
- (4) 当該事業が実現する中で、カーボンニュートラルを標榜する市長の今後のビジョンを伺う。

質問事項 2

島の暮らし支援室の事業について

質問の要旨

市長の肝入りで設置された島の暮らし支援室の事業について次のとおり伺う。

- (1) 松島・江島・平島、各島への具体的な支援策について伺う。
- (2) 島の暮らし支援室は、松島・江島・平島で実施している事業をどのように評価しているのか。また、その評価の中で課題をどのように認識し、今後どのような支援策を計画しているのか伺う。

7. 戸浦 善彦 議員

質問事項 1

未来のまちづくりについて

質問の要旨

- (1) 新型コロナウイルス感染症の流行で、「自粛」「制限」「抑制」など人々の生活の姿は変わってきており、コロナが収束しても元の姿に戻るのには容易ではないと思われる。そこで、ビヨンド・コロナを見据えて、コロナ前の生活からさらに進んだ西海市の未来を考えていくためには、「住民参画」が不可欠であると考えている。直接市長が地域住民や各種団体とひざを突き合わせて、それぞれの団体が望む西

海市の未来をテーマにしたワークショップを開催し、「対話」をすることで、「みんなで西海市の未来を育てる」という意識が醸成され、人の動きが活発になり経済も循環する西海市に繋がると考えるが、市の見解を伺う。

- (2) 相次ぐ自然災害や進む人口減少など多くの不安要素に取り巻かれ社会全体が揺れ動いていると感じる。このような状況下でこそ、西海市民の幸福感を高めていくため、身体的、精神的に健康な状態であるだけでなく、社会的、経済的に良好で満たされている状態であることを意味する「ウェルビーイング」という概念を西海市の政策に取り入れ、目標の指針となる幸福度指標を設定する考えはないか伺う。
- (3) 杉澤市政の２期目である現在においてもなお、地域は様々な課題を抱えている。市長が地域に出向き、住民の皆さんへ主要施策を説明するとともに、直接住民の皆さんから、行政に関するご意見や考えを聞くという姿勢は、地域住民に安心感と希望を与えるものである。また一方では、住民の多種多様な声の中に、市が抱える問題解決のヒントを見つける機会となる可能性もある。そこで、新型コロナウイルス感染症の流行等により中断されている「市政懇談会」を再開すべきと考えるが、市の見解を伺う。

質問事項２

幼児教育について

質問の要旨

幼児教育は、次代を担う子どもたちが人間として心豊かにたくましく生きる力を身につけられるよう、生涯にわたる人間形成の基礎を培う普遍的かつ重要な役割を担っている。西海市における「幼保連携型認定子ども園」においても、このような観点で幼児教育を進めていくと思われるが、西海市の未来に向けた幼児教育を今後どのように進めていくのか市の方針を伺う。